

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／市民環境部廃棄物対策課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	地域美化事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	生活環境の保全を図り、市民の快適な生活を確保するため、地域の美化を推進する。	落書き消去活動を実施	2：一定近づいた	継続	1,930	30,205	32,135	きれいなまちづくり条例の普及啓発	きれいなまちづくり条例の普及啓発を継続して行う	
2	不法投棄防止事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	不法投棄物を市域から無くし、きれいなまちづくりをめざすため、まちの美化や自然環境に影響を与える不法投棄を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄防止及び防犯夜間パトロールの実施 不法投棄防止看板、防犯カメラの設置 	2：一定近づいた	継続	530	18,233	18,763	不法投棄等の防止、指導、啓発の継続	各関係団体との連絡及び活動の強化	
3	環境衛生事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	防疫活動を推進するため、快適な生活を阻害する衛生害虫の駆除を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 駆除薬の配布 衛生害虫の駆除用機材貸出 	2：一定近づいた	継続	2,023	16,899	18,922	駆除用機材貸出の強化	継続して防疫活動を推進	
4	し尿処理事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、し尿を適正に処理する。	<ul style="list-style-type: none"> 天の川浄苑の維持 し尿くみ取り事業助成金の交付 し尿処理施設の広域化調査検討 	1：少し近づいた	継続	115,801	6,550	122,351	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化したし尿処理施設の対応 新し尿施設の設置に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> 新施設建設等に向けた調査、研究 	
5	ごみ減量化事業	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	ごみを減らすため、廃棄物の発生抑制に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ごみの出し方分け方マニュアルによる啓発 廃棄物減量等推進員への研修、視察等の実施 再生資源の集団回収の実施支援 家庭用生ごみ処理機器の購入補助 小型充電式電池回収の実施 小型家電の拠点回収・宅配回収の実施 	5：達成した	継続	24,656	25,142	49,798	<ul style="list-style-type: none"> 外国語版のマニュアルの作成 これまでの乾電池回収とあわせ対象外の電池処分方法の検討 廃棄物減量等推進員の担い手不足 集団回収の地域負担増 	<ul style="list-style-type: none"> 岸貝クリーンセンターと協議 大阪府、環境省等の動向を注視 	
6	ごみ収集事業	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	市民に衛生的な生活環境を提供するため、廃棄物を適正に収集する。	<ul style="list-style-type: none"> 塵芥車の管理 カラス等によるごみの散乱を防止するため防鳥用ネットの継続支給 	4：大いに近づいた	継続	1,237,539	134,074	1,371,613	<ul style="list-style-type: none"> ステーション回収の管理 塵芥車の管理 	ステーション回収の見直し	
7	岸和田市貝塚市清掃施設組合分担事業	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	廃棄物を安定的かつ衛生的に処理するため、岸和田市貝塚市清掃施設組合に対し、分担金を支出する。	<ul style="list-style-type: none"> 普通ごみ、資源ごみ（ペットボトル含む）、埋立ごみ、廃乾電池等の処分 	5：達成した	継続	1,438,303	2,116	1,440,419	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化 リサイクルの推進 	市民、事業者に対しさらなるごみ減量化の推進を図る。	
8	ごみ処分手業	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	循環型社会システムの構築を進めるため、家庭から分別収集された資源ごみ（プラスチック類、牛乳パック、廃食用油）を、再生利用する。	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装プラスチック類の再資源化 牛乳パック・廃食用油の売払い、再利用 	5：達成した	継続	94,668	2,911	97,579	<ul style="list-style-type: none"> 使用済製品プラスチック処分方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 使用済製品プラスチックを含んだプラスチック回収等の分別種別の見直し 	
9	一般廃棄物処理計画推進事業	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	一般廃棄物を適切に処理するため、一般廃棄物処理計画の企画、調整及び進行管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に策定した災害廃棄物処理計画に基づき、災害時の近隣集積所（一次集積所）の候補地の確認作業 一般廃棄物処理実施計画の更新 排出・処理量等に関する統計（実態調査、統計書）処理 	2：一定近づいた	継続	-	582	582	<ul style="list-style-type: none"> 一次集積所、仮置場のさらなる確保 	<ul style="list-style-type: none"> 町会、大阪府等との協議・調整 	
10	一般廃棄物処理適正化事業	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	一般廃棄物を適切に処理するため、事業所からの廃棄物等の適正な処理の許可及び指定を行う。	適正な処理の許可及び指定を継続した。	5：達成した	継続	-	946	946	既存の一般廃棄物収集運搬業許可業者により、適正に処理が実施できている。	特になし	
11	事務所等管理事業 (他課への一部予算分任事務)	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている	事務所等の施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	老朽化しているシャッターの修理や、執務室の壁の塗替えを実施した。	1：少し近づいた	継続	8,533	4,235	12,768	施設の老朽化により、修繕の必要な設備が増加している。	公共施設マネジメント課との協議	

■通常事業評価シート【R5年度実施事業／市民環境部廃棄物対策課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
12	廃棄物対策課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	・環境事務所安全衛生委員会を毎月開催し、コロナ感染拡大対策や交通事故防止、防火管理について協議を図った。	4：大いに近づいた	継続	1,875	13,784	15,659	地域猫など、新規業務への対応	担当業務の見直し	
13	公共公益施設整備基金積立事業	持続可能で信頼される行政になっている	環境事務所の整備のための資金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する。	基金の積み立て	3：おおむね近づいた	継続	66	1,320	1,386	施設の老朽化により、修繕の必要な設備が増加している。	公共施設マネジメント課との協議	